

小海高等学校生活指導係発行

南校舎1階男子トイレの個室について

南校舎1階の、特に1年生が利用することの多いこの個室トイレには、鍵がかけられています。このようになった理由は、以前、この中で喫煙をする生徒がいたため、しかたなくとられた強硬手段であった訳です。

しかし、これは1年生の生徒諸君に多大な不便を強いることとなり、事情を知らない皆さんに迷惑をかけてしまいました。今年の1年生の間では、このような問題行動はありませんので、^{せじよう}施錠をしないことにします。1年生諸君はこの事情をご理解ください。

さて、喫煙問題は今現在も継続中の課題です。喫煙の習慣があり、^{いま}未だにニコチン中毒に冒され苦しんでいる生徒もおります。未成年の喫煙は法律で禁止された違法行為であります。青年期に喫煙をしますと、正常で健全な成長が、肉体的にも精神的にも阻害されます。頭の働きが麻痺し、ニコチンを快感だと脳が認識してしまい、欠乏するとニコチンに対する欲求が起こり、喫煙は覚醒剤、麻薬と同じ強度の依存性をもたらせる効果があるのです。20歳未満の喫煙は^{けんいまし}厳に戒めるべき行為です。健康で楽しい生活になるよう心掛け、タバコの害について正確な知識を学びましょう。

"Don't smoke!"

(肺がんで亡くなったハリウッド俳優ユル・ブリンナーのメッセージ。彼は超ヘビースモーカーとして知られていた。)

ガムの噛みカス、通学路のごみポイ捨て問題

最近、校舎内において、特に男子トイレの小便器槽にガムの噛みカスが吐き捨てられている事がしばしば見受けられ、掃除担当の生徒、職員の間で問題視されております。



トイレだけではなく、廊下に吐き捨てられたカスを発見するに及んでは、すっかり嫌になってしまいました。どうしてこのようなマナー知らずのガサツなことが平気でできるのでしょうか。自宅の室内でも噛みカスを「ペッ」と吐き平然としているとでも言うのでしょうか。当然全ての生徒がしているわけではないのですが、よく^{おのれ}己の行為を^{かえり}省みてください。ガムを噛む事がいけないではありません。後始末の問題です。近頃では売れ行きの悪くなったガムの消費を増やすため、菓子メーカーが工夫を凝らしたおしゃれな製品を開発し、テレビコマーシャルで格好よく可愛らしいタレントを使い、大々的に宣伝をし若者の購買意欲を高めています。(この消費社会の中で我々は踊らされているともいえます。)

ガムを噛む事で、リラックスできたり、味覚を満足させることができますが、これが癖^{くせ}になってしまうこともあります。噛まない^{あぐへき}と落ち着かなくなるといった弊害が生じる恐れがあり、授業中にも噛んでしまうような悪癖につながることもあります。習慣性につながってしまう点に注意して、^{たしな}嗜んでいただきたいものです。

また、校庭の下を通学路に飴の包装紙が、たくさん落ちています。^{しつか}これも同様、「飴をなめるな」、ということではありません。後始末を^{しつか}確りして、マナー良く味わいましょう。



おニエがいます